

平成 30 年度 地域ケアプラザ事業計画書

1 施設名

横浜市今宿西地域ケアプラザ

2 事業計画

今年度、地域ケアプラザの管理運営をどのようにおこなっていくのか、具体的に記載してください。

以下、地域ケアプラザ事業実施評価との共通部分

1 全事業共通

地域の現状と課題について

・今宿地区では、連合町内会・自治会を中心として、『多くの人と交流ができ、支え合うまち今宿』『安心して暮らすことができるまち今宿』を目指す地域の姿として、継続的に福祉保健活動への取組がすすめられています。これまでに「私の健康カード」「防災安全カード」が継続的に作成、配布され、地域住民の中に定着してきました。また、各町内会・自治会で、ごみ集積場所を「いっとき避難場所」として決め、一番身近なご近所同士で安否確認する仕組みを作り、実際に防災訓練にも取り入れられています。さらに、第2期地域福祉保健計画では、70歳以上の高齢者を対象とした「困った時のあんしんカード」を導入し、外出先で万が一のケガや病気に見舞われた際、周囲の人の手助けを受けての救命率アップを目指していますが、外出時に持参している人が少ないのが現状です。これからは、地域の行事の際に携帯を呼びかけ、また「持っていてよかった」という実例を紹介して、普及に努めることが取組課題になっています。

・「こども・高齢者等の見守りネットワーク」については、学童の通学時の交通指導、防犯の見守りによるこどもの見守り、老人昼食会や配食、各種サロンの開催による高齢者の見守りが活発に行われています。第3期地域福祉保健計画では、地域のサポーターが高齢者・障がい者のちょっとしたお困りごとのお手伝いをする「今宿地区チョットお手伝い」を立ち上げることが計画されています。

・今宿地区では、子供から高齢者まで誰もが参加できる場として、自治会町内会等の地区行事が、年間を通じて行われています。平成27年度から「地区だより」の発行回数が年2回から年4回へと増やされ、地域行事や活動をタイムリーに広報する取組がすすめられています。しかし、地域活動が活発な一方、担い手の高齢化が課題となっています。そこで、次世代の地域活動の担い手育成としてすすめている「中学生ボランティア事業」「ジュニアボランティア事業」を各種団体が協力して、これからも推進していくことが求められています。

(1)相談（高齢者・こども・障害者分野等の情報提供）

・身近な場所で気軽に相談に来ていただけるように、引き続き、ケアプラザの総合相談窓口についての広報活動を実施します。

・ケアプラザの広報紙、自主事業、連合町内会役員会、各町内会・自治会役員会、民生委員・児童委員協議会の他、各種専門委員会、給食会、老人会、シニアの集い、福祉の集い等で、地域ケアプラザが保健福祉の総合相談窓口であることを紹介します。

・ご相談を受けた際には、必要に応じて適切なアドバイスや各種サービス・関係機関に結び付ける様に対応します。

(2) 各事業の連携

- ・地域の会合やお茶のみサロン等に、5職種が交代で参加し、ケアプラザの事業内容の周知及び地域包括支援センターと地域活動交流、生活支援体制整備事業を紹介します。地域からの情報の収集、ケアプラザからの情報発信により、地域情報の共有を図ります。
- ・それぞれの部門で把握している情報や課題の共有を図り、自主事業の開催や、個別訪問等につなげます。
- ・昨年に引き続き、「認知症サポーター養成講座」を共催にて開催します。

(3) 職員体制・育成、公正・中立性の確保

- ・定期的に同法人内のケアプラザ合同研修会として、「職員倫理規定」「情報漏えい防止」等の全体会と同職種での分科会を実施し、情報交換及びスキルアップの場とします。
- ・法人内研修だけでなく、職員が専門的な外部研修に積極的に参加する機会を作ります。なお、研修参加後は、研修内容について、全体ミーティング等で他職員に発表することで、全体的なスキルアップを進めます。
- ・外部から専門の講師を招き、管理者である所長を対象とした「PDCA サイクルマネジメント研修」を受講し、職員のマネジメントに活用します。所長は職員ひとりひとりに対して、定期的な面談等を実施し、個人目標設定、管理、評価を中心とした継続的なマネジメントを行います。
- ・職員体制において、やむを得ず欠員が生じた場合には、欠員期間を最短にするように、求職活動を行います。
- ・地域包括支援センターで受けたご相談から、居宅介護支援事業所を紹介する場合には、必ずホームページで複数の事業所を提示し、公正中立性を確保します。

(4) 地域福祉保健のネットワーク構築

- ・ケアプラザは地域支え合い連絡会の事務局として、地域と区行政との調整を図りながら、定期的に開催し、地域福祉保健計画の実現を推進します。
- ・連合町内会役員会、各町内会自治会役員会や各種専門委員会、地域の催し（シニアの集い・福祉の集いは共催を目指します。）、民生委員・児童委員協議会、給食会、老人会等、地域福祉の担い手の方々の集まりに積極的に参加し、顔の見える関係を作り、それぞれの状況やニーズを把握します。
- ・地域支え合い連絡会での高齢者支援に関する現状報告・ご意見の収集、「地域ケア会議」を継続して開催し、各種専門職と地域住民とのネットワーク構築を目指します。なお、今年は、前年より回数を増やして開催することで、話し合いの機会をこれまでより多く作ります。
- ・民生委員・児童委員との協働により、在宅高齢者への定期的な訪問等を継続的に実施し、その方にあった適切な介護保険サービス、介護保険外のサービスの利用につなげます。

(5) 区行政との協働

- ・ケアプラザは、地域支え合い連絡会の事務局であるため、第3期地域福祉保健計画「安心・安全なまち 今宿」の実現に向けて、地域代表者と区行政との調整役として、課題の抽出、課題の整理を行いながら、地域福祉保健計画推進を区行政と協働ですすめます。区行政の重点施策方針に合致した事業をケアプラザの事業として取り組みます。

2 地域活動交流事業

(1) 自主企画事業

- ・高齢者支援、子育て支援、地域向け等、地域ニーズをふまえながら、自主事業を企画・実施します。旭区食生活等改善推進員の皆様と協力し、地域を対象とした食育等に関する事業を開催します。また、他のケアプラザと協力して、地域を越えた旭区内の交流を促します。
- ・子育て世代を対象に、生後間もない時期から子連れで参加できる「子育てサロンぴよんぴよん」を開催するとともに、情報提供や子育てに関する講習等を区役所等と協力して開催します。
- ・地域包括支援センターと協力し、認知症予防の自主事業「元気に脳トレ（コグニサイズ）」を開催します。
- ・地域の集いの場として、「オープンカフェ」を第1～4月曜日に開催します。
- ・新たにお茶のみサロン「いきいき」を第3金曜日に開催します。
- ・男性使用者や夜間の貸館を増やす為、新しい自主事業を計画します。
- ・障害者向けの事業を旭区の他ケアプラザと協力し、開催します。

(2) 福祉保健活動団体等が活動する場の提供

- ・福祉保健活動団体が活動する場として、貸館を積極的にご利用いただけるように、広報紙等で紹介するとともに、ご利用方法等について窓口等で丁寧にご説明し、快適かつ安心してご利用していただけるように努めます。
- ・ケアプラザ登録団体の成果を披露・発表する場として、登録団体発表会や登録団体交流会等を開催し、登録団体の交流の機会を作ります。また、ケアプラザ祭、各種イベント等を企画し、活動者の意欲を高めてもらい、地域に活動を広げるきっかけとします。
- ・地域の施設イベント等、登録団体の福祉保健活動の場を紹介し、地域と登録団体を繋げます。

(3) ボランティアの育成及びコーディネート

- ・民生委員・児童委員協議会・地区社会福祉協議会・今宿中学校の地域活動を支援し、年間を通した中学生のボランティア活動事業を支援します。ケアプラザのデイサービス、子育て広場でのボランティア活動をはじめ、地域のお祭り等の行事、清掃活動等、地域住民との交流を通して、中学生ボランティアの育成を行っていきます。また、新しく地域で行うボランティア活動の立ち上げなど支援をしていきます。現在、登録生徒数は約49名であり、今後は登録生徒のボランティア参加率の向上、ボランティアとしての質の向上を目指すとともに、ボランティア活動部としての結束力やメンバー同士の交流を図るためのイベント等を企画します。
- ・ケアプラザの広報紙、旭区ボランティアセンターの広報紙にボランティア活動者募集を告知し、ボランティア登録者を積極的に受け入れます。
- ・今年度も、ボランティア活動者の増加促進の一環として、「よこはまシニアボランティアポイント事業」の登録研修会をケアプラザで実施します。
- ・ボランティア登録の際、施設の中でどのような活動をしたいのかをコーディネーターが丁寧にヒアリングし、その方の希望や、施設のニーズにあった適切なボランティア活動につなげていきます。

(4) 福祉保健活動等に関する情報収集及び情報提供

・町内会自治会や民生委員・児童委員協議会、地区社会福祉協議会等の会合に参加し、ケアプラザからの情報提供を行うとともに、地域ニーズの把握および福祉保健活動に関する情報収集に努めます。

・ケアプラザ内・外でどのような福祉保健活動が行われているかの情報を発信します。

・毎月発行する広報紙「ぽけっと」及び旭区広報紙において、ケアプラザ主催の自主事業の告知、ケアプラザの事業紹介、福祉保健活動に関する情報を発信します。

・福祉保健活動団体の活動を広げるために、サロンなどで発表の場を提供します。

・ケアプラザのブログを有効に活用し、ケアプラザの情報を地域に広く発信します。

さらに、子育て世代等の若い世代に見てもらえるように、ケアプラザの広報紙にケアプラザブログ専用のQRコードを掲載し、携帯等からブログを見ることが容易になるように工夫します。

・ケアプラザのブログに自主事業の情報以外の情報等を掲載し、若い世代等にケアプラザの設置目的等を周知します。

3 生活支援体制整備事業

(1) 事業実施体制

・今宿地区では、ここ数年、高齢者の通いの場は確保されつつありますが、一方で、今は元気で通えている方が、高齢化に伴って徐々に通えなくなってくることも予想されます。また、活動の担い手・後継者不足は切実な課題となっています。生活支援体制整備事業では、現在は元気で通えている方が、通いの場に通り続ける事ができるよう、そして活動の担い手・後継者の不足が解消される事を方針として掲げ、取り組みます。

下記に掲げる各項目の推進については、5職種で連携・補完し合い、必要に応じてミーティングを実施しながら取り組みます。

・毎月発行しているケアプラザ広報紙『ぽけっと』に加え、4半期毎に生活支援体制整備事業に関する通信を発行・配布します。この通信では、生活支援体制整備事業に関連する事柄等について情報発信し、地域の皆様が地域課題に気づき、自分の事として受けとめ、解決に向けて取り組むことができる地域づくりへの働きかけを行います。

・法人内の4つのケアプラザ（今宿西地域ケアプラザ、今井地域ケアプラザ、鴨居地域ケアプラザ、仏向地域ケアプラザ）で生活支援コーディネーターが集う部会を3か月に1回定期開催し、区域を超えた情報交換・共有を図ったり、共通の課題等について話し合う場を設けます。

(2) 地域アセスメント（ニーズ・資源の把握・分析）

・地域包括支援センターの総合相談票、地域ケア会議、介護予防の地域アセスメント、今宿地区の区民アンケート等を活用し、地域の高齢者の皆様を取り巻く様々な状況を把握します。

・地域包括支援センターが立ち上げ、活動を支援してきた今宿元気づくりステーション『さくらんぼ』『ひなぎく』、お茶のみサロン『こかげ』『さえずり』『ひなた』、そして昨年度新規に立ち上がったたまり場『心』『まごころの家』や地域行事（福祉の集い・季節のお祭り等）に継続的に参加する事で、活動の参加者・担い手・運営代表者の皆様から直接の声を聞かさせていただくとともに、活動に参加されない方、参加できない方、ご近所で気になる方等に関する聴き取り調査も行い、ニーズの把握と分析を実施します。さらに、今宿地区全体から高齢者が参加される『福祉の集い』にて、地域福祉アンケート（日常生活のごく身近な事柄や、今お困りの事、『あったらいいな』と思う支援等についてのアンケート）を実施します。このアンケート結果については、今宿地区町内会・自治会連合会への情報提供や今宿地区社会福祉協議会・旭区社会福祉協議会・今宿西地域ケアプラザの連携会議等で活用しながら、地域福祉の推進を図り

ます。

・住民主体による介護予防活動の団体の活動内容・活動の対象者・担い手等に関する情報収集と整理を行い、活動の特徴や様子が分かる資料作成をするとともに、今宿地区で高齢者向けサービスを展開する民間企業等に関してリサーチを行い、資源の把握・サービスリストの作成を実施します。収集・整理した資料等については、今宿地区町内会・自治会連合会、民生委員・児童委員協議会やケアマネジャー、エリア内の居宅事業所等に対して、ケアマネジメントに活用されるよう情報提供します。

・高齢者の暮らしの安心・安全に関して、必要とされる潜在的なニーズ把握に取り組み、住み慣れた地域での暮らしを、さらに安心・安全に継続できるよう努めます。

・旭区徘徊SOSネットワーク協賛店に対しては、毎月発行の広報紙『ぼけっと』を訪問配布し、地域の企業・施設等との関係性をさらに深めます。

(3)連携・協議の場

要支援者等を含めた高齢者を住民主体で支えあう活動づくりの推進

・お茶のみサロン『さえずり』の今後の運営について活動の代表者と話し合いの場を持ち、現在元気に参加されている方が要支援者等に該当しても、安心して通い続けることができるよう、要支援者等の受け入れ体制を強化する通所型サービスBへの移行を検討してもらえるように働きかけます。また、昨年度に引き続き、要支援者の受け入れに向け、活動の担い手の勉強会等を実施することで、住民が中心となって要支援者等を含めた高齢者を支えあう通所型サービスBへの移行を支援します。

県営今宿団地の健康団地事業の推進

・平成29年9月20日に新たに立ち上がった県営今宿団地『まごころの家』の健康団地事業の推進を継続支援します。(健康団地事業とは、団地住民の高齢化と空き住戸の増加を課題とし、空き住戸を団地にお住まいの方のたまり場として活用するもので、神奈川県公共住宅課団地再生グループが県域で進めている事業です。)広報紙等を活用した活動のPR、活動1周年記念の開催支援や出前講座の実施、活動の展開や活動場所の活用拡大等、県営今宿団地自治会や神奈川県公共住宅課と連携・協議しながら事業推進に向け支援します。

『今宿地区チョットお手伝い』活動の支援

・今宿地区町内会自治会連合会が高齢者の日常生活上の困りごと支援に取り組む『今宿地区チョットお手伝い』事業については、地域支え合い連絡会を協議体として位置付け、事業推進の支援を継続します。

お茶のみサロン運営代表者の交流会の開催

・高齢者を支え合う活動のつながりの推進として、お茶のみサロンの運営代表者の交流会を定期開催します。平成29年9月に県営今宿団地に新規に立ち上がった『まごころの家』にも交流会への参加を呼びかけ、さらにネットワークの拡大を図ります。

今宿地区社会福祉協議会・旭区社会福祉協議会・今宿西地域ケアプラザの連携会議の開催

・昨年度新規に立ち上がった、今宿地区社会福祉協議会・旭区社会福祉協議会・今宿西地域ケアプラザの連携会議を、今年度も引き続き毎月定例開催します。地域ごとに異なる課題がある中で、1人の高齢者の生活を支えるために必要なことを共に考え、その解決に向けた取組の推進を支援します。また、この会議を起点とし、必要に応じてより小さな単位の話し合いの場の設置・開催を検討します。

(4) より広域の地域課題の解決に向けた取組

少子高齢化の進行、世帯構成員の減少、要介護者や認知症の方等の増加が予測される中、高齢者の個別支援の充実、地域の担い手の発掘・養成、手助けが必要な高齢者を地域で受け入れる体制整備に向けて取り組めます。

『今宿地区チョットお手伝い』活動の後方支援

・第3期今宿地区地域福祉保健計画に盛り込まれ、今宿地区町内会・自治会連合会が立ち上げた、高齢者への日常生活の困りごと支援に取り組む『今宿地区チョットお手伝い』事業について、地域支え合い連絡会を協議体に位置付け、お手伝い依頼の受付体制やPR等、事業推進に向けた後方支援を継続します。この後方支援を通じて、今宿地区の高齢者が抱える日常生活支援のニーズ把握と、その解決に向けたマッチングを支援します。また、担い手の発掘・養成を目的として、『プロ直伝！住まいの修繕塾』をシリーズで開催し、DIYに関して身に付けた知識・技術をご自身のためだけでなく、地域の高齢者のために活用していただけるよう働きかけます。さらに、旭区生活支援コーディネーター連絡会・旭区社会福祉協議会が主催する『旭区ちょこっとボランティア連絡会』への参加についてお声がけをして、熱中症対策・害虫駆除に関する研修の他、ご要望に応じて技術研修会等を企画・実施し、旭区内のちょこっとボランティア活動団体同士の交流・情報交換等の機会を設置します。

よこはまシニアボランティアポイント登録研修会の開催

・ボランティア活動を通じた健康づくり、生きがいつくり、社会参加を促進し、元気な高齢者を地域に増やす取り組みとして、『よこはまシニアボランティアポイント登録研修会』を年に2回程度、地域活動交流部門と共催で継続的に開催します。また、すでに町内会館等で実施されている配食・会食サービス団体の中で、ポイント付与の対象となる団体には団体登録の呼びかけを行い、よこはまシニアボランティアポイントの適用拡大を図ります。

生活支援サポーター養成セミナーの開催

・今後も増加が見込まれている手助けが必要となる高齢者を、地域の中で受け入れていける体制づくりを目的として、手助けが必要な高齢者に対し、安心・安全に対応する知識・技術を学ぶ『生活支援サポーター養成セミナー』を開催します。また、サービスBへの移行を検討される活動団体にも積極的に参加を呼びかけます。

認知症サポーター養成セミナーの開催

・地域包括支援センターと共催で『認知症サポーター養成セミナー』を開催します。認知症の理解を広め、認知症の方とご家族を応援するためのサポーターを増やし、認知症になっても住み慣れた地域での暮らしが継続できるような地域づくりを進めます。

4 地域包括支援センター運営事業

(1) 総合相談支援業務

①地域におけるネットワークの構築

- ・地域包括ケアシステムの構築に向けて、医師、歯科医師、薬剤師、看護師等の医療従事者、介護支援専門員等の福祉専門職と、地域の皆様、民生委員・児童委員等と、地域の一人暮らし高齢者、認知症高齢者、要援護者が地域で安心して暮らせるまちづくりを目指します。
- ・個別レベル・包括レベル地域ケア会議・ケースカンファレンス・事例検討会の開催を通して、地域の課題共有を図り、解決に向けて多職種連携で取り組みます。
- ・意見交換・顔の見える関係作りを進め、ネットワーク化への努力を続けます。
- ・SOSネットワーク協賛店への月1回訪問による情報共有の機会を作る等、今年度も地域の皆様との関係を深められるように努めます。

②実態把握

- ・連合町内会役員会、各町内会自治会役員会、民生委員・児童委員協議会、各種専門委員会給食会、老人会、シニアの集い、福祉の集い等地域のイベントや集まりに参加し、地域包括支援センターの役割についての周知を図るとともに、町内会役員・民生委員・児童委員・各種ボランティア・ケアマネジャー・事業所・専門職等との情報交換を密に行い、実態把握に努めます。
- ・必要に応じて、依頼の方と同行訪問し、一体となって支える体制を作ります。

③総合相談支援

- ・電話、来所ともに迅速な対応を心がけます。
- ・元気づくりマップや各種事業のチラシを活用し、インフォーマルサービスや自助互助で出来る内容の提案なども行います。
- ・必要に応じて関係機関と連携をとり、適切な対応を心がけます。
- ・来所によるご相談が難しい方については、訪問により、対応します。

(2) 権利擁護業務

①成年後見制度の活用促進・消費者被害の防止

- ・区役所や社会福祉協議会等の関係機関との繋がりを強め、迅速に連携し対応します。
- ・関係機関と協働で、地域向けに勉強会や研修会、法律相談会を開催し、権利擁護事業、成年後見制度の普及啓発を行います。
- ・サポートネットに参加する事によって、職員のスキルアップを図ります。
- ・エンディングノートについて講座等を実施し、地域に周知していきます。

②高齢者虐待への対応

- ・区役所・地域・事業者・ケアマネジャー等との協力体制を作り、対象者の早期発見・早期解決に向け協同して行動します。
- ・住み慣れた地域で安心して暮らせるよう、地域の方と情報の共有を図り、見守り体制を築きます。

③認知症

- ・旭区キャラバンメイト ひまわりの会と連携し、「認知症サポーター養成講座」を開催し、地域内における認知症への理解、対応の仕方等の普及啓発を図っていきます。
- ・地域内の学校でも講座を開催し、認知症への理解、対応の仕方等を普及啓発していきます。
- ・地域での会合他、介護者の集い「プラっと西ケア」、介護予防体操サロン「わかば」、今宿元気作りステーション事業「さくらんぼ」「ひなぎく」等において認知症に関するミニ講座等を行い、正しい認識を持って、地域での見守りが出来る体制づくりを推進します。
- ・地域全体で支えていけるよう、見守りの体制を作り、安心して暮らせるまちづくりの一助となるよう取り組みます。

(3) 包括的・継続的ケアマネジメント支援業務

①地域住民、関係機関等との連携推進支援

- ・医師・歯科医師・看護師・薬剤師・医療ソーシャルワーカー・ケアマネジャー・事業所スタッフ等の専門職同士の関係づくりの強化と、専門職同士のネットワークを構築し、一人暮らしの方や認知症高齢者、要援護者の保護、ならびに地域での介護予防に関する意見交換・顔の見える関係作りを進め、協力体制を構築します。(地域の医療と介護・福祉ネットワークづくり推進会・年2回)
- ・地域資源(インフォーマルサービス)をわかりやすく紹介するため、旭区元気づくりマップを活用し、生活支援部門、地域活動交流部門と共同で普及に努めます。
- ・民生委員・児童委員と地区ごとにお悩み相談会の設置を検討し、各委員の抱える悩みや疑問を集約し、包括支援センターの持つ情報と課題の共有を行います。
- ・地域にある多様な資源を活用し、様々なご相談がケアプラザに入るように、地域の皆様、関係機関の皆様との連携体制を構築します。

②医療・介護の連携推進支援

- ・近隣ケアプラザ合同で行っている「かみしらねアカデミー」では、医療関係者・介護職・福祉職を対象に薬局・薬剤師との連携、精神疾患・障害者等への支援について勉強会を行います。今年度も地域ケア会議や医療との連携、相談援助技術などについて知識を深めていきます。
- ・医師・歯科医師・看護師・薬剤師・理学療法士・作業療法士・医療ソーシャルワーカー・ケアマネジャー・事業所スタッフ等の専門職と、地域住民及び民生委員・児童委員とのネットワークを構築し、一人暮らしの方や認知症高齢者、要援護者の保護、ならびに地域での介護予防に関する意見交換・顔の見える関係作りを進め、より密接した協力体制を構築していきます。
- ・今宿西地域の医療と介護の連携促進のために、推進会を開催します。(地域の医療と介護・福祉ネットワークづくり推進会・再掲)

③ケアマネジャー支援

- ・定期的に各事業所を訪問し、地域包括支援センターの業務説明、情報説明、近況報告、情報共有を行う場の提供、事業告知等を強化し、より強い信頼関係を築き、相談、支援要請がしやすい環境整備をします。
- ・地域包括支援センターの事業に地域のケアマネジャーの参加・協力を得て、地域包括支援センターの業務や事業を理解してもらうとともに、ケアマネジャーからも情報発信が出来る場として各地域連携事業を活用します。(地域の医療と介護福祉のネッ

トワークづくり推進会にて)

- ・今宿西地域ケアプラザ単独にて地域のケアマネジャーとの意見交換会・研修会を開催します。(事例検討会)(ケースカンファレンス)
- ・介護者を支える『認知症カフェいろどり』を年6回の予定で開催します。介護者同士のピアサポートと専門職の傾聴と助言が中心です。
- ・年2回の予定で、就労予定新人ケアマネジャーの実習及び研修を旭区主任ケアマネジャー分科会で実施します。施設見学は、新設箇所を中心にコースを組み込んでいく予定です。なお、全体研修の際は区社会福祉協議会の事業案内もお渡しする等、ケアマネジメントに必要な情報を提供します。

(4) 多職種協働による地域包括支援ネットワークの構築・地域ケア会議

多職種協働による地域包括支援ネットワークの構築・地域ケア会議

- ・従来の町内会・自治会、民生委員・児童委員、老人会、給食会への情報提供・連携に加え、地域の方々のニーズを第一に考え、医療情報等の講演の企画を検討し地域の方々が必要な情報を得る事で地域の介護力向上につなげます。
- ・個別ケースの地域ケア会議については概ね3ヶ月に一度開催し、関係者への連絡・調整・情報提供を行う等、中心的役割を担っていきます。
- ・運営協議会や地域支え合い連絡会を通じ、地域ケア会議リーフレットを活用して、引き続き周知、協力を図っていきます。

(5) 介護予防ケアマネジメント(指定介護予防支援事業・第1号介護予防支援事業)

介護予防ケアマネジメント(指定介護予防支援事業・第1号介護予防支援事業)

- ・委託ケースについては、ケアマネジャーと連携しながら、総合支援事業やインフォーマルサービスなどを地域の方々に情報提供します。
- ・予防支援及び予防ケアマネジメントでは、インフォーマルサービスの位置づけや自立支援の観点が含まれているか、担当者会議等の場を通じて必要な助言を行います。
- ・かみしらねアカデミーにおいて、介護予防プランの勉強会を実施し、エリア内のケアマネジャーのケアマネジメント力向上を図ります。
- ・地区担当ケースワーカー、保健師とも連携したケースカンファレンスや事例検討会を主催または共催し、ケアマネジャーの抱える課題への解決の一助とします。

(6) 一般介護予防事業

一般介護予防事業

- ・今年度も引き続き、自主事業として介護予防体操サロン「わかば」(年9回)において、ケアプラザから遠く、来所し辛い方を対象に、地域の町内会館等で行う介護予防体操サロン「わかば出張版」(年4回)を開催します。「わかば」内では保健活動推進員の方やスポーツ指導員の方と連携して、地域の介護予防の普及のため体力測定教室等を開催します。「わかば」ではフレイル予防を意識し、実施必須項目以外に地域のニーズに合わせた介護予防事業を展開していきます。
- ・区で所有している「ロコモ度テストツール」を使用し、地域の方々のロコモ度の現状調査を行います。自身のロコモ度を意識しながら、ロコモティブシンドローム予防が学べるようにロコモ度テストツールを利用した上で体操講座等を開催致します。
- ・地域活動交流部門と連携し、自主事業としてコグニサイズ事業を実施することで、コグニサイズの普及・啓発を行います。
- ・今年度も、今宿元気ステーション①さくらんぼ、②ひなぎくの側面支援を行います。

その他

以下、地域ケアプラザ事業実施評価との相違部分

施設の適正な管理について

ア 施設の維持管理について

- ・指定管理者として、法定保守点検対象項目について、法令を遵守して実施します。また、施設の不具合の発見時には、速やかに関係機関に処置を依頼し、不具合状態を迅速に復旧させます。緊急時は、区の担当窓口連絡し、相談・助言を受けながら適切に対応します。
- ・清掃に関しては、専門業者による定期清掃の他、日常的に職員が館内を清掃し、常に清潔な空間を保持します。
- ・ご利用者の皆様に、施設を常に安全かつ快適にご利用していただけるように努めます。

イ 効率的な運営への取組について

- ・指定管理者としてより効率的に施設を運営する為、予算の執行における物品購入の際には、2社以上から見積書を取り、より低価格で購入できるように努めて参ります。
- ・人員の適正な配置については、例えば、地域活動交流部門においては、日々の事業内容に応じてサブコーディネーターを配置する等、人件費の抑制に努めて参ります。
- ・地域包括支援センター、居宅介護支援、地域活動交流の各部門の職員が常に情報交換を行うことで、地域のニーズを適切に把握し、自主事業の開催、情報提供の機会の設定、適切なサービス提供等の課題解決につなげます。

ウ 苦情受付体制について

- ・地域の有識者の方々にご協力いただき、苦情処理に関する第三者評価委員を設置し、対応できる体制を整えています。
- ・館内に「ご意見箱」を常設し、ご意見ご要望が寄せられた際には、対応を協議し、対応した結果については、館内に掲示する事で施設を利用されるすべての皆様にご報告します。
- ・苦情が発生した場合には、速やかに対応し、再発防止に向けて原因の解明に努め、職員で共有します。
- ・月1回発行している広報紙の紙面においても、ケアプラザについてのご意見・ご要望・苦情について、常時、受け付けている旨を広く周知します。

エ 緊急時（防犯・防災・その他）の体制及び対応について

- ・ 防災対策として、年に2回以上の訓練を実施し、有事の際に全職員が適切な対応をとることができるように努めます。防災訓練については、旭消防署のご協力をいただきながら、職員及び施設利用者全員で緊急時の避難及び消火器の使用訓練、AEDの使用方法を含めた救命救急講習を予定しています。
- ・ 防犯対策として、閉館後は、専門の警備会社に警備業務を委託し、不審者等の侵入を防止する対策をとります。なお、正面玄関以外の扉は常に施錠し、日中は職員による巡回を行います。
- ・ 災害時の対応として、地域防災拠点等での避難生活が困難な在宅要援護者の為に、当施設を二次的な特別避難場所として開放できるよう、横浜市から応急備蓄物資の供給を得て、常時、受け入れ体制を整えています。また、開設手順をマニュアルにまとめることで、いつでも職員が対応できるように準備します。
- ・ 「今宿西地域ケアプラザ防災マニュアル」を作成し、緊急時の対応及び連絡体制を整えています。

オ 事故防止への取組について

- ・ 軽微な事故（ヒヤリハットメモ含む）や予測される事故の全てを報告の対象にし、朝の打ち合わせの際、各部門の職員ミーティングの際に報告・検討し、周知徹底を図り、再発を未然に防ぐよう努めます。特に危険と思われること、再発が危惧されることに対しては、シミュレーションして意見交換を行います。
- ・ 報告すべき事故が発生した際には、連絡体制のフロー図通りに対応し、原因究明、関係機関への報告等を速やかに行います。報告書については、職員一人一人が確認できるように、決められたファイルに保管し、閲覧できるようにします。

カ 個人情報保護の体制及び取組について

- ・ 職員に対して、「個人情報保護」についての研修を法人内で実施し、個人情報の取り扱いについて注意を喚起する機会を設けます。さらに、全職員に対して、個人情報の取り扱いについて法令を遵守する旨の誓約書の提出を義務付けています。
- ・ 通所介護事業、居宅介護支援事業、介護予防事業等の契約書に盛り込まれている個人情報の取り扱いについての事項を遵守するとともに、職員が個人情報を取り扱う際には、「個人情報・取扱いについてのマニュアル」に基づき対応します。また、個人情報が含まれる、通所介護のご利用者へお渡しする書類（連絡帳、領収書）に関しては、手渡しを原則とし、その他、ご利用者、取引業者にお渡しする書類等の発送、発信の際は、発送、発信の前に、誤発送、誤送信がないよう複数のスタッフで確認します。
- ・ データ保存で使用するメディア（USB）は、施設外への持ち出しを禁止し、保管については、鍵がかけられる扉の中で行っています。

キ 情報公開への取組について

- ・ 月1回発行の広報紙で、施設の事業内容を紹介します。
- ・ 年に一回、利用者アンケートの結果の集計結果を公表します。また、運営協議会において、地域包括支援センターの相談件数、居宅介護支援部門の担当件数、施設の利用状況等を報告します。また、要に応じて「介護サービス情報の公表」制度を利用し、ホームページに掲載します。

ク 人権啓発への取組について

- ・横浜市から発行される「人権」に関するポスター、広報紙を館内に掲示し、施設利用者への啓発を行います。
- ・4月の法人全体研修において、「人権擁護」についての職員研修を実施します。
- ・人権擁護に関する文書等を施設職員で回覧し、それぞれの業務遂行にあたっては、人権に配慮して行います。

ケ 環境等への配慮及び取組について

- ・「資源を大切に」の観点から、施設内にごみ排出責任者を配置し、職員への分別ルールの周知、徹底を推進します。
- ・排出項目別のごみ箱の設置等、ごみを分別しやすい施設環境を整え、今年度も、ごみ排出の際には、横浜市の分別ルールを厳守し、リサイクル可能な紙・段ボール類については、すべて古紙回収に回し、リサイクルの徹底に努めます。
- ・ペットボトル、空き缶、牛乳パック等は、ごみとして排出せず、デイサービスでのレクリエーションや創作活動に使用し、再利用を心がけており、今年度も、引き続き行います。
- ・年間を通じて、職員一人一人が節電・節水を心がけます。
- ・特に夏季の電力使用を抑制する為、施設利用者の皆様に施設の空調・照明を最小限で使用していただくよう協力を呼びかけます。
- ・ゴーヤ等のグリーンカーテンを敷地内に設置し、日除けとして利用する事で、節電に努めます。

介護保険事業

● 指定介護予防支援事業・第1号介護予防支援事業

《職員体制》

- 看護師 1名
- 社会福祉士 1名
- 主任ケアマネジャー 1名

《目標》

- 専門職がそれぞれの専門性を発揮し、地域で住み続けやすいよう介護保険、インフォーマルサービスを組み合わせ、ケアプラン立案を進めます。
- 3職種が相談しやすい雰囲気づくりを心掛け、困難事例などにも取り組みます。

《実費負担（徴収する場合は項目ごとに記載）》

- なし

《その他（特徴的な取組、PR等）》

- 迅速な対応を心掛け、住みやすい街づくりのお手伝いをしていきます。

《利用者目標》

【単位：人】

4月	5月	6月	7月	8月	9月
35	35	36	36	37	37
10月	11月	12月	1月	2月	3月
37	38	38	39	39	40

● 居宅介護支援事業

《職員体制》 H30. 4. 1 現在

- 常勤 3名

《目標》

- 適切なケアマネジメントを行い、課題や必要な支援を把握し、居宅において自立した日常生活を営む事ができるよう支援します。
- 利用者の人生観等を尊重し、その利用者の選択に基づいてサービスが提供されるよう支援します。
- 介護支援専門員としての倫理を持ち、公平中立に支援します。
- 市町村、地域包括支援センター、サービス事業者等の他職種との連携を密に行います。
- 親切・丁寧・迅速に専門知識をもって、介護保険等の相談に対応します。
- 利用者件数は基準担当件数である35件を目標とします。
- 緊急連絡用の携帯電話にて、24時間体制で対応します。

《実費負担（徴収する場合は項目ごとに記載）》

- 特になし

《その他（特徴的な取組、PR等）》

- 研修や勉強会への参加等を通して、ケアマネジメント業務の質の向上を図ります。
- 緊急連絡用の携帯電話を職員が所持し、ご利用者様・ご家族様からの連絡に、24時間体制で対応できる体制を整えています。

《利用者目標》

【単位：人】

4月	5月	6月	7月	8月	9月
117	117	117	117	117	117
10月	11月	12月	1月	2月	3月
117	117	117	117	117	117

● 通所介護・認知症対応型通所介護（対象外）

《提供するサービス内容》

-
-
-

《実費負担（徴収する項目ごとに記載）》

● 1割負担分

（要介護1） 円

（要介護2） 円

（要介護3） 円

（要介護4） 円

（要介護5） 円

● 食費負担 円

-
-

※ その他、実費相当を徴収するものについては、各施設で項目を増やして記載をしてください。

《事業実施日数》 週 日

《提供時間》 : ~ : （半角で入力 例 9:00~15:00）

《職員体制》

《目標》

《その他（特徴的な取組、PR等）》

《利用者目標（延べ人数）》

【単位：人】

4月	5月	6月	7月	8月	9月
10月	11月	12月	1月	2月	3月

● 介護予防通所介護・第1号通所事業・介護予防認知症対応型通所介護（対象外）

《提供するサービス内容》

-
-
-

《実費負担（徴収する項目ごとに記載）》

● 1割負担分

（事業対象者） 円

（要支援1） 円

（要支援2） 円

● 食費負担 円

-
-

※ その他、実費相当を徴収するものについては、各施設で項目を増やして記載をしてください。

《事業実施日数》 週 日

《提供時間》 : ~ : （半角で入力 例 9:00~15:00）

《職員体制》

《目標》

《その他（特徴的な取組、PR等）》

《利用者目標（契約者数）》

【単位：人】

4月	5月	6月	7月	8月	9月
10月	11月	12月	1月	2月	3月

平成30年度「横浜市令指西地域ケアプラザ」
収支予算書及び報告書(一般会計)＜地域活動＞

収入の部

(税込、単位：円)

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
指定管理料	17,458,631		17,458,631	17,458,631	0	横浜市より
利用料金収入			0	0	0	この列は入力しない
指定管理料充当 事業	0		0	0	0	
自主事業収入			0	0	0	この列は入力しない
雑入	30,000		30,000	0	30,000	
印刷代	30,000		30,000	0	30,000	
自動販売機手数料			0	0	0	この列は入力しない
駐車場利用料金収入			0	0	0	この列は入力しない
その他(指定管理料充当)	0		0	0	0	
その他(施設使用料相当額 法人負担分)			0	0	0	
その他(提案時控除 法人負担分)			0	0	0	
収入合計	17,488,631	0	17,488,631	17,458,631	30,000	

支出の部

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
人件費	11,200,000		11,200,000	0	11,200,000	
本俸	2,776,816		2,776,816	0	2,776,816	
社会保険料	937,552		937,552	0	937,552	
手当計	7,261,296		7,261,296	0	7,261,296	
健康診断費	93,072		93,072	0	93,072	
勤労者福祉共済掛金	0		0	0	0	ハマふれんど
退職給付引当金繰入額	92,176		92,176	0	92,176	
その他	39,088		39,088	0	39,088	
事務費	666,515		666,515	0	666,515	
旅費	5,000		5,000	0	5,000	
消耗品費	35,000		35,000	0	35,000	
会議随費	5,000		5,000	0	5,000	
印刷製本費	25,000		25,000	0	25,000	
通信費	46,000		46,000	0	46,000	
使用料及び賃借料	0		0	0	0	
横浜市への支払分			0	0	0	
その他	0		0	0	0	
備品購入費	5,000		5,000	0	5,000	
図書購入費	0		0	0	0	
施設賠償責任保険	25,000		25,000	0	25,000	
職員等研修費	5,000		5,000	0	5,000	
振込手数料	0		0	0	0	
リース料	250,000		250,000	0	250,000	
手数料	0		0	0	0	
地域協力費	12,000		12,000	0	12,000	
その他	253,515		253,515	0	253,515	
事業費	1,070,572		1,070,572	0	1,028,572	
運営協議会経費	42,000		42,000	0	42,000	予算・指定額
指定管理料充当 事業	1,028,572		1,028,572	0	1,028,572	
管理費	3,625,544		3,625,544	0	2,225,544	
建築物・建築設備点検	65,829		65,829	0	65,829	予算・指定額
光熱水費	1,400,000		0	0	0	
電気料金			0	0	0	
ガス料金			0	0	0	この列は入力しない
水道料金			0	0	0	
清掃費	400,000		400,000	0	400,000	
修繕費	474,000		474,000	0	474,000	予算・指定額
機械整備費	150,000		150,000	0	150,000	
設備保全費	750,000		750,000	0	750,000	
空調衛生設備保守	150,000		150,000	0	150,000	
消防設備保守	100,000		100,000	0	100,000	
電気設備保守	300,000		300,000	0	300,000	
害虫駆除清掃保守	100,000		100,000	0	100,000	
駐車場設備保全費	0		0	0	0	
その他保全費	100,000		100,000	0	100,000	
共益費	0		0	0	0	
その他	385,715		385,715	0	385,715	
公租公課	896,000	0	896,000	0	896,000	
事業所税			0	0	0	この列は入力しない
消費税	896,000		896,000	0	896,000	
印紙税			0	0	0	この列は入力しない
その他()			0	0	0	この列は入力しない
事務経費 (計算根拠を説明欄に記載)	0	0	0	0	0	この列は入力しない
本部分			0	0	0	この列は入力しない
当該施設分			0	0	0	この列は入力しない
ニーズ対応費			0	0	0	この列は入力しない
支出合計	17,458,631	0	17,458,631	0	16,016,631	
差引	30,000	0	30,000	17,458,631	△ 15,986,631	

自主事業費収入	1,028,572		1,028,572	0	1,028,572	
自主事業費支出	1,028,572		1,028,572	0	1,028,572	
自主事業収支	0	0	0	0	0	⇒自主事業(指定管理料充当の自主事業)費

管理許可・目的外使用許可収入	0		0	0	0	駐車場利用料金・自動販売機手数料収入等法人収入
管理許可・目的外使用許可支出	0		0	0	0	使用料(横浜市への支払等)
管理許可・目的外使用許可収支	0		0	0	0	

平成30年度「横浜市今宿西地域ケアプラザ」

収支予算書及び報告書(特別会計)

収入の部

(税込、単位：円)

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
指定管理料(包括)	23,027,202		23,027,202		23,027,202	横浜市より
指定管理料(介護予防)	147,600		147,600		147,600	横浜市より
指定管理料(生活支援)	5,789,000		5,789,000		5,789,000	横浜市より
利用料金収入			0		0	この列は入力しない
指定管理料充当事業(包括)	0		0		0	
指定管理料充当事業(介護予防)	0		0		0	
指定管理料充当事業(生活支援)	0		0		0	
自主事業収入			0		0	この列は入力しない
雑入	0	0	0		0	
印刷代	0		0		0	
自動販売機手数料	0		0	0	0	
駐車場利用料金収入	0		0	0	0	
その他(指定管理料充当)	0		0		0	
その他(提案時控除 法人負担分)	0		0		0	
収入合計	28,963,802	0	28,963,802	0	28,963,802	

支出の部

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
人件費	25,980,000	0	25,980,000	0	25,980,000	
本俸	13,870,981		13,870,981		13,870,981	
社会保険料	3,329,856		3,329,856		3,329,856	
手当計	8,040,290		8,040,290		8,040,290	
健康診断費	34,033		34,033		34,033	
勤労者福祉共済掛金	0		0		0	ハマふれんど
退職給付引当金繰入額	462,703		462,703		462,703	
その他	242,137		242,137		242,137	
事務費	725,143	0	725,143	0	725,143	
旅費	15,000		15,000		15,000	
消耗品費	20,000		20,000		20,000	
会議随費	0		0		0	
印刷製本費	20,000		20,000		20,000	
通信費	40,000		40,000		40,000	
使用料及び賃借料	0	0	0	0	0	
横浜市への支払分	0				0	
その他	0		0	0	0	
備品購入費	0		0		0	
図書購入費	0		0		0	
施設賠償責任保険	25,000		25,000		25,000	
職員等研修費	5,000		5,000		5,000	
振込手数料	0		0		0	
リース料	300,000		300,000		300,000	
手数料	0		0		0	
地域協力費	0		0		0	
その他	300,143		300,143		300,143	
事業費	1,292,315	0	1,292,315	0	1,292,315	
協力医	630,000		630,000		630,000	予算:指定額
指定管理料充当自主事業(包括)	205,715		205,715		205,715	
指定管理料充当自主事業(介護予防)	147,600		147,600		147,600	
指定管理料充当自主事業(生活支援)	309,000		309,000		309,000	予算:指定額
管理費	966,344	0	966,344	0	966,344	
建築物・建築設備点検	17,486		17,486		17,486	予算:指定額
光熱水費	420,000	0	420,000		420,000	
電気料金			0		0	
ガス料金			0		0	この列は入力しない
水道料金			0		0	
清掃費	100,000		100,000		100,000	
修繕費	126,000		126,000		126,000	予算:指定額
機械警備費	50,000		50,000		50,000	
設備保全費	140,000	0	140,000	0	140,000	
空調衛生設備保守	50,000		50,000		50,000	
消防設備保守	20,000		20,000		20,000	
電気設備保守	30,000		30,000		30,000	
害虫駆除清掃保守	20,000		20,000		20,000	
駐車場設備保全費	0		0		0	
その他保全費	20,000		20,000		20,000	
共益費	0		0		0	
その他	112,858		112,858		112,858	
公租公課	0	0	0	0	0	
事業所税			0		0	
消費税	0		0		0	
印紙税			0		0	
その他()			0		0	この列は入力しない
事務経費(計算根拠を説明欄に記)	0	0	0	0	0	
本部分			0		0	
当該施設分			0		0	
二一ス対応費			0		0	
支出合計	28,963,802	0	28,963,802	0	28,963,802	
差引	0	0	0	0	0	

自主事業費収入	0					
自主事業費支出	0					
自主事業収支	0			0		⇒自主事業(指定管理料充当の自主事業)費
管理許可・目的外使用許可収入				0		駐車場利用料金・自動販売機手数料収入等法人
管理許可・目的外使用許可支出				0		使用料(横浜市への支払等)、駐車場設備保全費
管理許可・目的外使用許可収支				0		

平成 30年度 地域ケアプラザ収支予算書及び報告書<介護保険事業分>

施設名:横浜市今宿西地域ケアプラザ

平成30年4月1日～平成31年3月31日
(単位:千円)

	科目	介護予防支援			居宅介護支援			通所介護			予防通所介護・第1号通所介護			認知症対応型通所介護		
		予算	決算	差引	予算	決算	差引	予算	決算	差引	予算	決算	差引	予算	決算	差引
収入	介護保険収入	5640		5640	15420		15420			0			0			0
	その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	介護予防ケアマネジメント費			0			0			0			0			0
	事業・負担金収入			0			0			0			0			0
	利用者外給食収入			0			0			0			0			0
				0			0			0			0			0
				0			0			0			0			0
	その他			0			0			0			0			0
収入合計(A)	5640	0	5640	15420		15420	0		0		0		0		0	
支出	人件費			0	13074		13074			0			0			0
	事務費			0	798		798			0			0			0
	事業費			0	61		61			0			0			0
	管理費			0	476		476			0			0			0
	その他	3470	0	3470	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	利用者負担軽減額			0			0			0			0			0
	消費税			0			0			0			0			0
	介護予防プラン委託料	3470		3470			0			0			0			0
	利用者外給食費支出			0			0			0			0			0
	その他			0			0			0			0			0
支出合計(B)	3470	0	3470	14409	0	14409	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
収支(A)-(B)	2170	0	2170	1011	0	1011	0	0	0	0	0	0	0	0	0	

※ 介護予防プランを他事業者へ委託する場合の取扱は、介護報酬を一旦全額収入に計上した後、他事業者へ委託料として支払う分を支出に計上してください。

※ 上記以外の事業(認知症対応型通所介護等の事業)を実施している場合は、事業ごとに列を増やして同様に記載をしてください。

平成30年度 自主事業収支計画書

横浜市今宿西地域ケアプラザ

事業名	①募集対象者	自主事業予算額							
	②募集人数	総経費	収入			支出			
	③一人当たり参加費		指定管理料	参加費	その他	講師謝金	材料費	その他	
ジュニアスケッチクラブ	小学生	4968	地活	68	4900			4968	
	49人		包括						
	100円		生活						
そろばん	小学生	73502	地活	25502	48000		73502		
	20人		包括						
	100円		生活						
ミュージックサロン	地域	183540	地活	3540	180000		93540	50000	40000
	50人		包括						
	300円		生活						
タイ式ヨガ	子育て中のママ	155000	地活	15000	140000		147000		8000
	20人		包括						
	500円		生活						
親子deダンス	未就園児	66822	地活	6822	60000		66822		
	20人		包括						
	500円		生活						
キッズダンス・ワンステップ	未就学児	126822	地活	6822	120000		66822	60000	
	20人		包括						
	500円		生活						
名曲喫茶Zio	地域	30000	地活	2650	27350			30000	
	30人		包括						
	100円		生活						
母の日に手作りプレゼント	小学生以上	6341	地活	3341	3000		3341	3000	
	6人		包括						
	500円		生活						
切り絵	地域	25596	地活	9096	16500		24497	1099	
	15人		包括						
	100円		生活						
父の日に親子でそば打ち体験	父親と小学生	8113	地活	3113	5000		1113	7000	
	10人		包括						
	1000円		生活						
夏休みこどもデザート教室	小学生	5741	地活	3341	2400		3341	2400	
	8人		包括						
	300円		生活						
ヴォイストレーニング	地域・小中学生	96184	地活	184	96000		80184	10000	6000
	10人・10人		包括						
	500円・300円		生活						
げんきに脳トレ	高齢者	133632	地活	18432	115200		133632		
	16人		包括						
	300円		生活						
シング・ア・ソング	精神障がい者他	26724	地活	19524	7200		26724		
	6人		包括						
	100円		生活						
クリスマスコンサート	地域	5400	地活	400	5000			5400	
	50人		包括						
	100円		生活						
書初め教室	小学生	7795	地活	2995	4800		7795		
	24人		包括						
	200円		生活						

平成30年度 自主事業収支計画書

横浜市今宿西地域ケアプラザ

事業名	①募集対象者	自主事業予算額							
	②募集人数	総経費	収入			支出			
	③一人当たり参加費		指定管理料	参加費	その他	講師謝金	材料費	その他	
今宿西オープンカフェ	地域	125000	地活	5000	120000			125000	
	25人		包括						
	100円		生活						
高校生ボランティア	高校生	0	地活						
	6人		包括						
	0円		生活						
囲碁・将棋サロン・キッズ	地域の方・小学生	0	地活						
	38人		包括						
	0円		生活						
旭ふれあい区民まつり 行政PRコーナー出展事業	地域の方	0	地活						
	282人		包括						
	0円		生活						
迎春生け花講座	地域の方	0	地活						
	10人		包括						
	0円		生活						
子育て広場ぴよんぴよん	未就園児と保護者	4800	地活	800	4000			4800	
	20人		包括						
	0円(イベント50円)		生活						
ケアプラザ祭	地域	30000	地活	22000	8000			30000	
	600人		包括						
	100円		生活						
楽しく英会話	地域・未就園児と保護者	235436	地活	9636	225800		195436	40000	
	10人・7組		包括						
	500円・300円		生活						
シニアボランティア講座	高齢者	0	地活						
	15人		包括						
	0円		生活						
ふれあいウォーキング	地域の方	200	地活	200					200
	4人		包括						
	0円※会計は別ケアプラザ		生活						
ボランティア感謝会	ボランティア活動者	3780	地活	3780			3780		
	35人		包括						
	0円		生活						
フラワーアレンジメント講座	地域	43627	地活	2227	41400		2227	41400	
	10人		包括						
	2520円		生活						
今宿西大掃除	貸館利用団体	5000	地活	5000				5000	
	45人		包括						
	0円		生活						
登録団体発表会～2019～	地域	3813	地活	1813	2000		3813		
	80人		包括						
	100円		生活						
認知症カフェ 『いろどり』	地域	18000	地活		6000				18000
	60人		包括	12000					
	100円		生活						
プラット西ケア (介護者の集い)	高齢者	4000	地活						4000
	45人		包括	4000					
	0円		生活						

事業ごとに別紙に記載してください。

平成30年度 自主事業計画書

横浜市今宿西地域ケアプラザ

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
ジュニアスケッチクラブ	<p>目的：地域の幼稚園～小学生に、情操教育の一環として「水墨画」を描く機会を提供すると共に、地域の方のボランティアの機会をつくること。</p> <p>内容：月に1回、土曜日の午前10時～11時、地域在住のボランティアを講師として招きます。水墨画を描く。作品は、定期的にケアプラザに展示して、地域に紹介します。</p>	通年 12回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
ミュージックサロン	<p>目的：高齢者の外出の機会を増やし、参加者同士の交流、仲間作りの場とすること。</p> <p>内容：月に1回、第一金曜日の午前10時～11時50分、講師のアコーディオンの演奏に合わせて、季節感を感じていただける唱歌、懐かしい歌を歌います。参加者がお友達を連れて来られ、参加者の歌の輪が広がる場を作ります。</p>	通年 12回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
タイ式ヨガ	<p>目的：子育て中の女性が、ヨガの運動を通してリフレッシュできる時間を提供すると共に、ヨガ教室参加をきっかけに子育て広場事業への参加につなげる。また、未就園児連れ参加okとして、ボランティアスタッフの見守りを行い、ケアプラザ登録ボランティアスタッフの活動の場を作ること。</p> <p>内容：月2回、多目的ホールでヨガを行います。途中、お茶の時間を設け、参加者同士の交流の時間を作ります。</p>	通年 20回

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
親子deダンス	<p>目的：親子共に参加できるダンス教室として、親子のふれあいを深めるとともに、新しいお友達作り、交流の場を提供すること。</p> <p>内容：地域在住のダンスの指導者を講師役として迎え、親子で楽しめるダンス講座を開催します。</p>	通年 12回

平成30年度 自主事業計画書

事業名	目的・内容	実施時期・回数
キッズダンス・ワンステップ	目的：青少年の健全育成の機会提供を行うこと。 内容：地域で子供向けダンスクラブを指導している講師を招き、楽しい音楽に合わせてダンスの振り付けを指導します。最初の回と最終の回のみ保護者の見学OKとして、保護者と離れて練習し、最終回に、保護者の前で披露します。また、デイサービスで発表してもらい、交流の機会を設けます。	通年 12回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
名曲喫茶Zio	目的：老若男女問わず、音楽愛好者が集い、交流する機会を設ける。運営ボランティアを育成すること。 内容：鑑賞に使うレコードの寄付を地域住民にお願いして集まったCDをジャンル別に分類し、広報紙や地域住民の集まりで開催告知を行ういます。プログラムは3時間を3つのジャンルに分け、リクエストを受けながら音楽をかけます。	通年 12回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
母の日に手作りプレゼント	目的：母の日に合わせてプレゼントを作り、プレゼントすることで、親子の絆を深める機会を作ること。また、ケアプラザをまだ利用したことがないファミリー層の方に、ケアプラザに来館していただく機会を設け、今後の利用促進につなげること。 内容：アイシングクッキーを手作りして、プレゼントとして持ち帰ります。	5月 1回

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
切り絵	目的：切り絵を通じて小さな芸術作品を創作することの喜びと交流機会を提供すること。 内容：講師が切り絵とは何か？切り絵のやり方などを説明した後、題材をもとに個々に切り絵を実践します。講師が一人ずつ指導します。	通年 12回

平成30年度 自主事業計画書

事業名	目的・内容	実施時期・回数
父の日に親子でそば打ち体験	<p>目的：父親と一緒に物作りを行うことで、親子の交流の機会を設けます。特に、ケアプラザをまだ利用したことがない世代の方にケアプラザに来館していただく機会を設けること。また、今後の利用につなげます。</p> <p>内容：地域のそば打ち教室の先生がそば打ちを指導し、出来上がったものを食べていただきます。</p>	6月 1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
夏休みこどもデザート作り教室	<p>目的：子供たちが楽しみながら学ぶとともに、地域の子供たちの交流を促すこと。また、ケアプラザをまだ利用したことがない世代の方にケアプラザに来館していただく機会を設け、今後の利用につなげること。</p> <p>内容：講師がデザート作りを小学生に教えます。</p>	8月 1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
ヴォイストレーニング	<p>目的：子育て世代や高齢者が一緒に歌を歌う事で、世代を超えた交流の機会を提供すること。</p> <p>内容：地域の方の中から講師を招き、ヴォイストレーニングをしながら歌をうまく歌うコツを習います。また、コーラスグループなどの参加を促し地域交流を促進します。</p>	通年 24回

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
げんきに脳トレ	<p>目的：地域包括支援センターと共催の認知症予防の認知サイズで介護予防や地域交流の機会を提供すること。</p> <p>内容：看護師と一緒に参加して参加者の体調を確認しながら、講師が認知症予防の認知サイズを教える。</p>	通年 24回

平成30年度 自主事業計画書

事業名	目的・内容	実施時期・回数
シング・ア・ソング	<p>目的：地域包括支援センターと共催で開催し、精神障がい者が地域で集える場所を作るとともに、そのサロンを運営するボランティアを育成することで、地域住民の精神障がい者に対する理解啓発を行うこと。</p> <p>内容：当事者と付添い者、ボランティアがケアプラザ近隣在住の音楽療法士による選曲および伴奏で歌を歌いながら交流します。</p>	通年 12回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
クリスマスコンサート	<p>目的：ケアプラザに足を運んでいただく機会とすること。また、ボランティアに運営に関わっていただくことで、ボランティア活動機会の提供を行うこと。</p> <p>内容：＜第1部＞県立旭陵高校吹奏楽部の皆さんのクリスマスにちなんだ曲の演奏。＜第2部＞音楽系の登録団体の演奏等＜第3部＞自主事業の講師の演奏に合わせ会場全員でクリスマスソングを歌う。運営については、ボランティアグループかたつむりメンバーや中学生ボランティア活動部に受付等をサポートしてもらいます。</p>	12月 1回

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
書初め教室	<p>目的：地域の小中学生に、ケアプラザに来てもらう機会を作ること。</p> <p>内容：学校の課題になっている書初めをケアプラザでみんなで行い組みます。ケアプラザ利用団体メンバーが会場準備、当日の指導をボランティアとして担います。教室終了後は、作品を持ち帰る他、館内に「書初め作品展」として展示します。</p>	12月 1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
今宿西オープンカフェ	<p>目的：地域ケアプラザをもっと身近に利用していただくこと。なお、企画、運営等にあたっては、ボランティアスタッフを募り、ボランティア活動分野を広げる。</p> <p>内容：エントランスホールを開放して音楽を聴きながらのんびりくつろいでいただいたり、地域住民の方々と交流していただけるカフェ空間を演出します。囲碁・将棋等のコーナーも設け、様々なくつろぎスタイルを提案します。</p>	通年 48回

平成30年度 自主事業計画書

事業名	目的・内容	実施時期・回数
高校生ボランティア	目的：今宿地区中学生ボランティア活動部の卒業生などにボランティア活動の場を提供すること。 内容：花を育て、民生委員と共に高齢者に届けるなどの活動を行います。また、ボランティアに必要と思われる事柄の講師を招き、レクチャーを受けます。	通年 4回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
子育て広場ぴよんぴよん	目的：子育て中のフリースペースとして、新しいお友達作り、情報交換の場として、また、先輩ママがボランティアとして携わることで悩み相談の場とすること。 内容：月2回、月曜日の午前10時～午後2時、多目的ホールをプレイルームとして開放します。また、地域の先輩ママがボランティアとして参加、区役所地区担当の保健師に参加してもらう等、気軽に相談できる体制を継続していきます。	通年 25回

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
囲碁・将棋サロン・キッズ	目的：地域の方と小学生の放課後の有意義な活用を提供すること。 内容：初心者・小学生向けに地域在住のボランティアが囲碁・将棋を指導します。月2回、第1・3水曜日に開催します。	通年 24回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
旭ふれあい区民まつり行政PRコーナー出展事業	目的：区民に対してケアプラザの認知度を高めること。 内容：ケアプラザをPRするため、行政・PRコーナーに出展します。	10月 1回

平成30年度 自主事業計画書

事業名	目的・内容	実施時期・回数
迎春生け花講座	<p>目的：地域ケアプラザを利用したことのない、あるいは利用が少ない方々に、ケアプラザに足を運んでいただくきっかけを作ること。</p> <p>内容：講師が活けたお花を見ながら、新年を迎えるための生け花を行います。</p>	12月 1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
ケアプラザ祭	<p>目的：地域の多くの方にケアプラザを知っていただく、事業内容をご紹介する機会とすること。また、ボランティア活動に、ケアプラザ登録団体の方に携わっていただくことで、ボランティア活動に対する関心を高める機会とすること。</p> <p>内容：多目的ホールで自主事業参加者のダンスやサークル活動の歌等の発表、パッチワーク等の作品展示、活動紹介。体組成計を使った健康チェック、介護等についてのご相談等の実施。今宿地区町内会自治会の模擬店出店など、地域住民が気軽に参加しながら、ケアプラザを知っていただく機会を提供。なお、運営にあたっては、ケアプラザ登録団体によびかけ、ボランティアスタッフを募り、色々な分野のサークルから、また中学生ボランティア活動部から、ボランティアとして参加してもらう予定です。</p>	3月 1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
楽しく英会話	<p>目的：英語を通して地域の交流を図るとともに、高齢者、未就園児とその親を対象に英語のある環境を作ること。</p> <p>内容：高齢者向けは東京オリンピックを家でテレビで見るのではなく、会場に見に行くという目標で、簡単な英会話を学んでもらいます。未就園児とその親向けは、親が子供に話しかけるきっかけを作り、親子の交流や、子供に関心を持ってもらう為に英語というツールで遊ぶながら学んでもらいます。</p>	通年 30回

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
シニアボランティア講座	<p>目的：シニア世代の方がボランティアに関わる機会をつくり、地域で活躍する事が出来るようにヨコハマいきいきポイントの活用を促進すること。</p> <p>内容：シニア世代を対象にヨコハマいきいきポイントの講習を開催し、ボランティア活動を始める機会を設けます。</p>	6月・1月 2回

平成30年度 自主事業計画書

事業名	目的・内容	実施時期・回数
ボランティア感謝会	<p>目的：ケアプラザで活動しているボランティアの方々に感謝の気持ちを伝えるとともに、ボランティア同士の交流の機会を提供し、今後の活動の励みとしていただくこと。</p> <p>内容：手話ダンスなどの活動団体に発表していただいたり、参加者全員に自己のボランティア活動を紹介していただきます。コーヒー・ケーキをとりながら歓談する時間を設けます。</p>	3月 1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
ふれあいウォーキング	<p>目的：各CP共催ということで、地域・区域を越えたCP間の交流の促進と拡大とおもに、元気にウォーキングする事で健康づくりをし、高齢者の引きこもり防止と仲間づくりの場の提供</p> <p>内容：山手駅集合して本牧山頂公園に向かい、本牧神社を経由して三溪園まで歩く。</p>	10月 1回

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
今宿西大掃除	<p>目的：日頃、ケアプラザを利用している団体のみなさんと一緒にケアプラザの掃除活動を行い、ケアプラザを綺麗に利用する気持ちを強めてもらうこと。また、ボランティア活動の一環として、ボランティアの気持ちを育むこと。</p> <p>内容：ケアプラザの大掃除を登録団体のメンバーで行います。ボランティアの参加人数でサークルのボランティア活動します。</p>	12月 1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
登録団体発表会 ～2019～	<p>目的：登録団体の交流と日頃の活動の成果を報告する場を提供すること。地域の方に登録団体を知ってもらい、参加などを促す。また、コーヒーなどの販売を行い、オープンカフェの宣伝もする。</p> <p>内容：発表会を開催し、登録団体の中から約8団体に活動の報告を兼ねた発表をしてもらいます。</p>	1月 1回

平成30年度 自主事業計画書

事業名	目的・内容	実施時期・回数
フラワーアレンジメント講座	目的：ケアプラザを知らない幅広い世代の方に知ってもらい、理解を深めること。また、各世代の方々の交流の場を提供すること。 内容：講師が作り方などを説明した後、個々にフラワーアレンジメント作成を実践します。なお、指導は講師が一人ずつ行います。	9月・2月 2回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
認知症カフェ『いろどり』	目的：認知症介護家族のピアカウンセリング機能として発足。現役世代で想いの共有が出来る事で認知症介護における気持ちの軽減が出来ること。 内容：雰囲気づくりを大切に、テーブルクロスや小物、飲み物、菓子を用意し、語り合う場とします。批判し合わないルールを設定し、同調される方の参加になります。職員が1～2名同席し、1時間半、介護者のフリートークを行います。	奇数月 6回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
プラット西ケア (介護者の集い)	目的：日常の介護者のお話を参加者全員で傾聴し、介護についての悩み等を独りで抱え込まないように適切なアドバイスやレスパイトの場とを提供する事。 内容：参加者は介護について日常の事や今後について話をする場として参加。参加者の中からハーモニカ演奏やマジックが得意な方に披露していただき、リフレッシュの時間をつくります。また、活動内容は参加者にアンケート等で希望を聞きながら活動を広げていきます。	偶数月 6回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
そろばん	目的：地域の小学生に、「そろばん」を気軽に体験する機会を設け、計算が好きな子供を増やすこと。 内容：月に2回、水曜日の放課後、地域在住の方を講師に迎え、そろばんの指導をします。地域の方に採点のボランティアとして参加してもらいます。	通年 24回